

令和7年度 「工業技術基礎」 學習指導計画

(注) 評価の観点は、I 「知識・技能」 II 「思考・判断・表現」 III 「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

学 期	月	内容のまとめり	単元 (実習項目)	単元の目標 (具体的目標)	評価の観点			配当 時数	主な評価方法
					I	II	III		
1	4	*「工業技術基礎」を 学ぶにあたって *人と技術と環境	*「工業技術基礎」を 学ぶにあたって *人と技術と環境	現代の工業の分野は、きわめて多方面にわたっているとともに、各専門分野は総合化・融合化される傾向がある。各専門分野の基礎的・基本的な技術を含んだ題材を取り上げ、広い分野の知識や技術を身に付け、人と技術の関りや安全・環境について理解できるようにする。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 単元ごとの課題</li> <li>• 口答による重要事項の確認</li> <li>• 授業に取り組む姿勢、意欲、出席の状況</li> <li>• 単元ごとの課題</li> </ul> <p>以上を点数化し、総合的に評価する。</p>
	5	*事故防止と安全作業 *知的財産と アイデアの発想	*事故防止と安全作業 *権利と制度 *知的財産と産業財産権	建築科では、工業技術基礎をはじめ実験や実習を展開する授業が多いため、事故の防止につとめながら安全に作業することが大切である。服装・整理整頓・点検など、事故防止の基本とともに、事故が発生した際の対処方法について理解させる。また、工業の発展に必要な知的財産権の意義と概要を理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	7	
	6	*材料の基礎	*木材の組織 *木材の種類と特徴	木材は、自然の材料で、加工性のよさから住宅や家具など、古くから私たちの身のまわりで使われてきた。 木材ならではの長所と短所をはじめ、木材（針葉樹、広葉樹）や木質材料（合板、集成材、单板積層材、ファイバーボード、パーティクルボードなど）の種類と特徴を理解し、用途に応じて適切に利用するための基礎的な知識を理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	12	
	7			木材の強度、手工具を主体とする加工（切断、切削、穴あけ、塑性）、接合（継手、仕口）、塗装などの実験や実習を通して、木材という材料の性質や特徴の理解を深めるとともに、用途に応じた適切な活用および道具の正しい使い方についても理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	10	
	8		*木材の強度 *木材の加工 *木材の接合 *木材の塗装	木材の強度、手工具を主体とする加工（切断、切削、穴あけ、塑性）、接合（継手、仕口）、塗装などの実験や実習を通して、木材という材料の性質や特徴の理解を深めるとともに、用途に応じた適切な活用および道具の正しい使い方についても理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	10	
2	10	*測量の基礎	*距離測量 *平板測量 *水準測量	土地の形状や高さ、道路や建築物の位置などは器機を使って求める。距離測量、平板測量、水準測量の実習を通して、測量の基礎的な理論を体験的に理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 単元ごとの課題</li> </ul>
	11				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	14	
3	12	*住宅模型	*建築模型の種類 *軸組模型	建築物の形態や周囲との関連、室と室のつながり、屋根や外壁の配色などを表現する建築模型の種類や特徴を理解させるとともに、建築構造模型の一種である木造建築物の軸組模型の制作実習を通して、専門科目「建築構造」で学習する木造建築の内部構造について理解を深めさせる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 単元ごとの課題</li> </ul>
	1				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	20	
	2				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	20	
	3				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	20	

【銀色別評価】

令和7年度 「製図」 学習指導計画

(注) 評価の観点は、Ⅰ「知識・技能」Ⅱ「思考・判断・表現」Ⅲ「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

学期	月	内容のまとめり	単元 (実習項目)	単元の目標 (具体的目標)	評価の観点			配当 時数	主な評価方法
					I	II	III		
1	4	*「建築設計製図」を学ぶにあたって	*建築の設計と製図 *建築設計製図の学び方	建築物は、企画・計画・設計・施工・維持保全の過程を経てつくられる。製図は、建築空間の構想を図法や規約に沿って図面に表すことである。この単元では、製図の役割に関わる基本的な考え方を理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	4	・単元ごとの課題 ・口答による重要事項の確認 ・授業に取り組む姿勢、意欲、出席の状況 ・単元ごとの課題 以上を点数化し、総合的に評価する。
	5	*製図の基本	*製図用具と使い方 *製図規約	この単元では、製図用具（製図板、製図器、筆記具、用紙など）の基本的な使用方法を理解するとともに、「文字の練習」や「線の練習」を通して、製図に関わる規約（線、文字、図面、配置、尺度、寸法、表示記号など）について理解を深めさせる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	4	
	6	*建築の設計製図	*平屋建専用住宅設計図① 製図例1-2 土台マワリ詳細図	この単元では、建築物の荷重を地盤に伝達するための土台マワリ（基礎、土台、大引、根太など）の断面寸法や納まりについて、図面から読み取り、表現する方法を理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	8	
	7		*平屋建専用住宅設計図② 製図例1-1 軒先マワリ詳細図	この単元では、建築物の軒先マワリ（柱、軒桁、小屋梁、垂木、屋根仕上げなど）の断面寸法や納まりについて、図面から読み取り、表現する方法を理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	8	
	8		*平屋建専用住宅設計図③ 製図例2-1 配置図・平面図・面積表	この単元では、配置図（敷地や建築物などの形状や寸法）と平面図（柱、壁、開口部などの形状や主要寸法）について、図面から読み取り、表現する方法を理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	8	
	9		*平屋建専用住宅設計図④ 製図例2-3 立面図・断面図	この単元では、立面図（扉や窓の形状、外壁や屋根の様子など）と断面図（建築物と地盤の関係、建築物内部の高さなど）について、図面から読み取り、表現する方法を理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	8	
	10		*平屋建専用住宅設計図⑤ 製図例2-4 各伏図	この単元では、基礎伏図、床伏図、天井伏図、小屋伏図、屋根伏図について、図面から読み取り、表現する方法を理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	10	
2	1	*建築の設計製図	*平屋建専用住宅設計図⑥ 製図例2-5 軸組図	この単元では、軸組図について、構造上主要な部材（柱、桁、土台、筋かいなど）の位置と寸法を図面から読み取り、表現する方法を理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	10	以上を点数化し、総合的に評価する。
	2		*平屋建専用住宅設計図⑥ 製図例2-6 断面詳細図	この単元では、断面詳細図について、図面から読み取り、表現する方法を理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	10	
	3								

【銀色別評価】

令和7年度 「工業情報数理」 學習指導計画

(注) 評価の観点は、I 「知識・技能」 II 「思考・判断・表現」 III 「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

学 期	月	内容のまとめり	単元 (実習項目)	単元の目標 (具体的目標)	評価の観点			配当 時数	主な評価方法		
					I	II	III				
1	4	*産業社会と情報技術	*情報と生活 *情報化社会の光と影 *コンピュータの特徴 *情報化の進展と産業社会 *情報化社会のモラルと管理 *情報セキュリティの管理 *問題の発見・解決と 情報技術の活用	情報技術の進展により、私たちの生活は大きく変化するとともに、利便性が向上した反面で危険性も高まっている。この単元では、コンピュータの特徴を踏まえ、産業社会でどのようにコンピュータが利用されているのかを理解するとともに、自他の権利や情報を取り扱う際の注意点、問題の発見や解決の方法について理解を深めさせる。	○	○	○	14	・単元ごとの課題 ・口答による重要事項の確認 ・授業に取り組む姿勢、意欲、出席の状況 ・単元ごとの課題 以上を点数化し、総合的に評価する。		
	5										
	6	*コンピュータの基本操作とソフトウェア									
	7										
	8										
	9										
	10	*プログラミング	*プログラミング言語 *プログラムのつくり方 *アルゴリズムと流れ図 *プログラミングの基礎	コンピュータに計算の手順やデータを記憶させると、何度も同じ処理をさせることができる。この単元では、コンピュータに処理手順を記憶させるためのプログラミング言語、プログラムを作成するための流れ図やアルゴリズム、各種処理などの基礎的な部分について理解を深めさせる。	○	○	○	7	・単元ごとの課題 ・口答による重要事項の確認 ・授業に取り組む姿勢、意欲、出席の状況 ・単元ごとの課題 以上を点数化し、総合的に評価する。		
	11	*ハードウェア									
	12	*ネットワーク	*コンピュータ ネットワーク *ネットワークの通信技術	この単元では、コンピュータネットワークの特徴、種類、構成機器、接続形態などの基礎的な部分を理解させる。	○	○	○	6			
3	1	*コンピュータによる制御	*いろいろな制御 *組込み技術	この単元では、電化製品や産業用ロボットなどに組み込まれているマイクロコンピュータをはじめとする組込み技術の基礎的な部分について理解させる。	○	○	○	6	・単元ごとの課題 ・口答による重要事項の確認 ・授業に取り組む姿勢、意欲、出席の状況 ・単元ごとの課題 以上を点数化し、総合的に評価する。		
	2	*数理処理	*単位と数理処理 *実験と数理処理 *モデル化と シミュレーション	工業の各分野において、課題を発見して解決するためには、情報、数学、物理、化学などの各理論を事象の数理処理と関連付けて検討することが大切である。この単元では、数理処理に必要な単位や有効数字の取扱いとともに、式モデルの作成やシミュレーションの方法などの基礎的な部分について理解させる。	○	○	○	8			
	3										

### 【觀點別評価】

令和7年度 「建築構造」 學習指導計画

(注) 評価の観点は、I 「知識・技能」 II 「思考・判断・表現」 III 「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

### 【觀點別評価】

令和7年度 「建築計画」 学習指導計画

(注) 評価の観点は、I 「知識・技能」 II 「思考・判断・表現」 III 「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

学期	月	内容のまとめり	単元 (実習項目)	単元の目標 (具体的目標)	評価の観点			配当 時数	主な評価方法
					I	II	III		
1	4	*「建築計画」を学ぶにあたって	*建築計画とは *地球環境と建築計画 *日本の建築の歩み *世界の建築の歩み *建築計画で学ぶこと	建築計画の概要について、快適性や省エネルギーの視点で捉え、科学的な根拠に基づき工業生産に関連付けて考察し、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、建築物の計画ができるようにする。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 単元ごとの課題</li> <li>• 口答による重要事項の確認</li> <li>• 授業に取り組む姿勢、意欲、出欠席の状況</li> <li>• 単元ごとの課題</li> <li>• 定期考査</li> </ul>
	5	*建築と環境	*建築と環境の概要	建築物は、自然、地域、都市、街区といった環境の中に存在している。したがって、建築物は、これらの環境から多くの影響を受けながら、同時に周辺の環境に対してさまざまな影響を与えている。この単元では、環境の要素と快適性を得るためにの方法などについて理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3	
	6		*屋外環境と室内環境	人々は、いつの時代においても、その地域の気候に適合するように、さまざまな工夫をして建築物をつくってきた。この単元では、日本の気候を理解するとともに、建築物の内部を快適な室内気候にするための諸要素について理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	4	
	7		*換気と通風	きれいな空気は、室内の快適な環境づくりの大切な要素の一つである。この単元では、室内的空気が不快な状態にならないようにするための基本的な事項について理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	4	
	8		*伝熱と結露	建築物の内外に温度差が生じると、高温側から低温側へ熱が移動し、その結果、室内的温度は変化する。この単元では、建築物の各部分で起こる熱の移動のしくみと、快適な室内気候を得る方法について理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	2	
	9		*日照と日射	太陽放射のうち、直接地表に届く成分すなわち直射日光を日照という。この単元では、建築物や敷地に十分な日照を確保し、活用するために必要な基本事項と、日射が建築物に与える影響などについて理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3	
	10		*採光と照明	人々が健康で快適な生活を営むためには、適切な明るさが必要である。この単元では、人が明るさどのように捉えるかを知り、また、室内的明るさについて、太陽による採光と人工光源による照明を大切にして、建築計画上の基本事項を理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	6	
2	11	*色彩			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	6	<p>以上を点数化し、総合的に評価する。</p>
	12				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	6	
	1				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	4	
3	2	*音響			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	4	<p>以上を点数化し、総合的に評価する。</p>
	3				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	4	

【銀卡刷証伍】

令和7年度 「課題研究」 學習指導計画

(注) 評価の観点は、I 「知識・技能」 II 「思考・判断・表現」 III 「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

【觀點評價】

令和7年度 「実習」 学習指導計画

(注) 評価の観点は、I 「知識・技能」 II 「思考・判断・表現」 III 「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

【觀點評價】

令和7年度 「製図」 学習指導計画

(注) 評価の観点は、I 「知識・技能」 II 「思考・判断・表現」 III 「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

学期	月	内容のまとめり	単元 (実習項目)	単元の目標 (具体的目標)	評価の観点			配当 時数	主な評価方法
					I	II	III		
1	4	* 課題設計	* 木造2階建専用住宅 設計図① ・配置図兼1階平面図 ・2階平面図 ・1階屋根伏図	間取り図ともいい、設計・施工の上で最も基本となる図面である。平面表示記号によって表し、必要なところには室名、寸法、説明などを記入する。 柱、壁、出入口とその主要寸法、建具の開閉形式、階段の昇り方向、床仕上げ、断面の切断位置、造り付け家具、設備（便所、手洗い器、流し、ガス台など）、方位、室名、テラス、ポーチなどを適切に表現する方法を理解させる。	○	○	○	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ごとの課題</li> <li>・口答による重要事項の確認</li> <li>・授業に取り組む姿勢、意欲、出欠席の状況</li> <li>・単元ごとの課題</li> </ul> <p>以上を点数化し、総合的に評価する。</p>
	5		* 木造2階建専用住宅 設計図② ・断面図 ・軸組図	断面図は、建築物を外壁面に直角に鉛直な面で切断し、その切り口の外形と、それより先に見える壁や建具などの立面を示す。基準地盤面、一般軒高、最高高さ、屋根勾配、軒の出、床高、各室の天井高、床の高低差、窓高、内法寸法、室名などを適切に表現する方法を理解させる。 軸組図は、柱や桁、土台、筋かいなどの構造上主要な部材の位置や寸法を適切に明示する方法を理解させる。	○	○	○	10	
	6		* 木造2階建専用住宅 設計図③ ・立面図	姿図あるいは外観図ともいう。外観でみえるすべてのものを表すのが原則であるが、施工上重要なものは省略する場合もある。 扉や窓の形状、床下や小屋裏の換気口、外壁、屋根、庇、戸袋などを適切に表現する方法を理解させる。	○	○	○	10	
	7				○	○	○	10	
	8				○	○	○	10	
2	9		* 木造2階建専用住宅 設計図④ ・断面図詳細図	基礎、床高、天井高、軒高、窓高、内法高、建築物の高さ、軒や庇の出、屋根勾配、各部材の名称や材種、断面寸法、内外部の仕上方法などを適切に表現する方法を理解させる。	○	○	○	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ごとの課題</li> </ul>
	10		○	○	○	10			
	11		○	○	○	10			
	12		○	○	○	10			
3	1	* 自由設計	* 木造2階建専用住宅 設計図⑥ ・配置図兼1階平面図 および2階平面図 ・1階平面詳細図 ・立面図 ・断面図	設計条件を踏まえ、日本工業規格（JIS）及び国際標準化機構（ISO）規格を踏まえて表現させる。	○	○	○	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ごとの課題</li> </ul>
	2				○	○	○	20	
	3				○	○	○	20	

【銀卡刷証伍】

令和7年度 「建築構造」 學習指導計画

(注) 評価の観点は、I 「知識・技能」 II 「思考・判断・表現」 III 「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

学 期	月	内容のまとめり	単元 (実習項目)	単元の目標 (具体的目標)	評価の観点			配当 時数	主な評価方法
					I	II	III		
1	4	*木構造  *鉄筋コンクリート構造	*木造枠組壁工法	在来軸組構法以外の木構造の構造形式として、枠組壁構法をとりあげ、在来構法との相違点などを理解させる。設計、施工、流通を含め、在来構法とは異なるシステムをもつ構法であることを理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ごとの課題</li> <li>・口答による重要事項の確認</li> <li>・授業に取り組む姿勢、意欲、出欠席の状況</li> <li>・单元ごとの課題</li> <li>・定期考查</li> </ul> <p>以上を点数化し、総合的に評価する。</p>
	5		*構造の特徴と構造形式 *鉄筋	鉄筋コンクリート構造は、鉄筋とコンクリートが一体となった複合材料で、それぞれの長所を生かし、短所を補い合って成り立っていることを理解させる。 鉄筋や溶接金網の形状、寸法、機械的性質などを理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	7	
	6		*コンクリート *基礎	コンクリートの材料、フレッシュコンクリートの性質、硬化後のコンクリートの強度や品質などについて、関連付けて理解させる。 基礎の形式や基礎の計画について、建築構造設計、建築設計製図、建築施工、建築実習などと関連付けて指導する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	7	
	7		*躯体	躯体の構成を理解させた上で、各部材の配置の原則や一般的な断面形について理解させる。耐震計画について、耐力壁を設ける方法を中心して理解させる。基礎、梁、柱、壁などの配筋について理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	5	
	8		*仕上げ	鉄筋コンクリート構造の仕上げとその下地について理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3	
	9		*壁式構造 *プレストレストコンクリート構造	壁式構造は、壁と床を耐力要素とした構造であることを理解させる。壁、床、屋根を一体連続の平板構造とするもので、剛性も高く耐震性に優れ、鉄筋の使用量も少ないなどの特徴を理解させる。 プレストレストコンクリート構造の原理について理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	7	
	10		*構造の特徴と構造形式 *鋼と鋼材	鋼構造の構造材料となる鋼材の性質を理解させ、鋼構造の特徴、長所、短所を理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	7	
2	11	*鋼構造	*鋼材の接合 *基礎と柱脚 *骨組	高力ボルト、ボルト、溶接など、鋼材の接合方法の特徴を理解させる。また、鋼構造に適した基礎について理解させる。 骨組の構成方法と骨組を構成する部材の形状、配置、接合方法やそれらに生じる力について理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・单元ごとの課題</li> <li>・定期考查</li> </ul> <p>以上を点数化し、総合的に評価する。</p>
	12		*仕上げ *軽量鋼構造と鋼管構造	鋼構造の外部仕上げ（屋根、外壁）および開口部の構造の概略について理解させる。 軽量鋼構造と鋼管構造の特徴を示し、長所や短所とともに、構造の概略を理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	6	
	1		*構造のあらまし *鉄骨鉄筋コンクリート構造	合成構造の主な材料となるコンクリートと鋼材の特徴を再確認させ、それぞれの材料を最も効果的に配置することにより、この構造が成り立っていることを理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	6	
3	2	*合成構造	*コンクリート充填鋼管構造 *建築構造のまとめ	コンクリート充填鋼管構造の構造的特徴を、躯体の構成から理解するとともに、力学的特徴も示して理解させる。 教科書の章末問題等を中心に、建築構造のまとめをする。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	8	
	3								

### 【觀點別評価】

令和7年度 「建築計画」 学習指導計画

(注) 評価の観点は、I 「知識・技能」 II 「思考・判断・表現」 III 「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

学期	月	内容のまとめり	単元 (実習項目)	単元の目標 (具体的目標)	評価の観点			配当 時数	主な評価方法
					I	II	III		
1	4	*住宅の計画	*住宅の意義	建築構造、建築法規、建築設計製図などの科目と関連させながら、住宅の計画や設計にあたっての基本的・基礎的な知識を習得させる。 住宅は、居住者が快適に衛生的に生活できる空間でなければならない。人間の生活には、寝食や生理的な活動などの変化のない普遍的な要素と、ライフスタイルによって変化する要素がある。住宅の計画は、生活要素の中の普遍的な要素を満足した上で、変化を伴う要素を考えて行うように指導する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ごとの課題</li> <li>・口答による重要事項の確認</li> <li>・授業に取り組む姿勢、意欲、出欠席の状況</li> <li>・単元ごとの課題</li> <li>・定期考査</li> </ul> <p>以上を点数化し、総合的に評価する。</p>
	5								
	6		*住宅計画の進め方	住宅の計画例を通して、企画、計画、建築生産、設計者、確認申請などの用語を正しく理解させる。 企画、計画、設計の3つの段階では、段階ごとに建築の内容を検討して作業を進め、再検討や調整を重ねながら、建築主の要求を満たす建築物を実現させることを理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	8	
	7								
	8		*全体計画	住宅の敷地を選定するにあたっての望ましい条件とともに、住宅の敷地に関する建築基準法および同施行令などの法規制について理解させる。 配置計画については、敷地の形状や大きさ、道路との関係、方位、隣地の建築物の配置など敷地の周辺状況が重要であることを理解させる。 配置計画、平面計画、立面・断面計画、構造・設備計画、デザイン・色彩計画について理解させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	5	
	9								
	10		*各部の計画	家族の共同的な空間（居間、食事室など）、個人の生活空間（寝室、高齢者などへの配慮など）、その他の空間（家事空間、生理・衛生空間、交通空間、収納空間、外部空間など）について、住宅の事例を多く紹介し、その利点や欠点を考察させる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	6	
	11								
3	12	*住宅の計画		2階建専用住宅の設計を通して、「全体計画」や「各部の計画」の学習内容を深化させる。 設計条件から、建築主の要望やライフスタイルを理解させ、条件にあつた住宅を設計できるよう指導する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	10	
	1								
	2								
	3								

【銀卡刷証伍】

令和7年度 「建築構造設計」 學習指導計画

(注) 評価の観点は、I 「知識・技能」 II 「思考・判断・表現」 III 「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

【銀色別評価】

令和7年度 「課題研究」 學習指導計画

(注) 評価の観点は、I 「知識・技能」 II 「思考・判断・表現」 III 「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

【銀色別評価】

令和7年度 「実習」 学習指導計画

(注) 評価の観点は、I 「知識・技能」 II 「思考・判断・表現」 III 「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

【觀點別評價】

令和7年度 「製図」 学習指導計画

(注) 評価の観点は、I 「知識・技能」 II 「思考・判断・表現」 III 「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

学期	月	内容のまとめり	単元 (実習項目)	単元の目標 (具体的目標)	評価の観点			配当 時数	主な評価方法	
					I	II	III			
1	4	* 課題設計	* 鉄筋コンクリート構造 ・配置図、各階平面図	鉄筋コンクリート構造は、圧縮に強いコンクリートと、引張に強い鉄筋を組み合わせて、外力に抵抗するようにした構造である。火やサビに弱い鉄筋を、それらに強いコンクリートが包むため、耐火性や耐久性が高いという長所がある。一方、部材断面が大きく、重量が大きくなるという欠点もあるが、部材の断面や形状を自由に設計できるため、いろいろな形状の建築物を設計することができる。	○	○	○	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元ごとの課題</li> <li>・ 口答による重要事項の確認</li> <li>・ 授業に取り組む姿勢、意欲、出欠席の状況</li> <li>・ 単元ごとの課題</li> </ul> <p>以上を点数化し、総合的に評価する。</p>	
	5				○	○	○	10		
	6		* 鉄筋コンクリート構造 ・ 平面詳細図		○	○	○	10		
	7				○	○	○	10		
	8		* 鉄筋コンクリート構造 ・ 立面図、断面図		○	○	○	10		
	9				○	○	○	10		
2	10		* 鉄筋コンクリート構造 ・ 矩計図、各伏図		○	○	○	10		
	11				○	○	○	10		
	12		* 鋼構造		○	○	○	10		
	1	* 自由設計			○	○	○	20		
3	2	* 鉄筋コンクリート構造 ・ 配置図、平面図 ・ 立面図 ・ 断面図	設計条件を踏まえ、日本工業規格（JIS）及び国際標準化機構（ISO）規格を踏まえて表現させる。	○	○	○	20			
	3			○	○	○	20			

【觀點別評價】

令和7年度 「建築計画」 學習指導計画

学科	建築科		学年	3	履修	必修
教科	工業	科目名	建築計画	単位数	2	時数
教科書名（発行所）	建築計画（実教出版）		副教材（発行所）			
目標	工業の見方・考え方を働きかせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、建築物の計画に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ①建築物の計画について住空間の快適性やエネルギーを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 ②建築物の計画に関する課題を見出し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。 ③安全で快適な建築物を計画する力の向上を目指して自ら学び、建築の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。					

(注) 評価の観点は、I 「知識・技能」 II 「思考・判断・表現」 III 「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

学期	月	内容のまとめり	単元 (実習項目)	単元の目標 (具体的目標)	評価の観点			配当 時数	主な評価方法
					I	II	III		
1	4	*第3章 各種建築物の計画	*事務所の計画	「建築構造」「建築法規「製図」などの科目と関連させながら、事務所の役割や種類を把握させるとともに、事務所の全体計画および各部の計画について理解させる。建築物の企画や計画について、快適性や利便性の視点で捉え、科学的な根拠に基づき、建築物の計画ができるよう学習させる。	○	○	○	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ごとの課題</li> <li>・口答による重要事項の確認</li> <li>・授業に取り組む姿勢、意欲、出欠席の状況</li> <li>・単元ごとの課題</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	5		*小学校の計画	不特定多数人が利用する公共建築物について、平面計画や空間構成のあり方、バリアフリーやユニバーサルデザインの必要性とあり方、さらに手法について学はせるとともに、関連する法規について理解させる。	○	○	○	12	
	6		*各種建築物の安全計画	火災、地震、風水害などの災害から利用者を守るとともに、建築物の被害を最小限にとどめるための安全対策について学習させる。	○	○	○	10	
	7		*都市と地域の計画	*都市と都市計画 *都市計画制度 *建築と地域の計画 *地域の計画とまちづくり	家族の共同的な空間（居間、食事室など）、個人の生活空間（寝室、高齢者などへの配慮など）、その他の空間（家事空間、生理・衛生空間、交通空間、収納空間、外部空間など）について、住宅の事例を多く紹介し、その利点や欠点を考察させる。	○	○	○	14
2	8	*第4章 都市と地域の計画	*建築設備の概要 *給排水、衛生設備 *空気調和、換気設備 *電気設備 *防災設備 *搬送設備	建築物の屋内環境を健康的で衛生的かつ安全にするために、建築物の設備について、住空間の快適性や省エネルギーの視点で捉え、科学的な根拠に基づき、建築物の計画ができるよう学習させる。また、建築物の省エネルギー性能に大きく影響する建築設備の制御について、A/Iの利用やI/O Tへの対応などの情報技術の活用について理解させる。	○	○	○	20	<p>以上を点数化し、総合的に評価する。</p>
	9				○	○	○	10	
	10				○	○	○	14	
	11				○	○	○	14	
3	12	*第5章 建築設備の計画			○	○	○	20	
	1				○	○	○	20	
	2				○	○	○	20	
	3				○	○	○	20	

【觀點別評價】

令和7年度 「建築構造設計」 學習指導計画

(注) 評価の観点は、I 「知識・技能」 II 「思考・判断・表現」 III 「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

【觀點評價】

令和7年度 「建築施工」 學習指導計画

(注) 評価の観点は、I 「知識・技能」 II 「思考・判断・表現」 III 「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

学期	月	内容のまとめり	単元 (実習項目)	単元の目標 (具体的目標)	評価の観点			配当時数	主な評価方法
					I	II	III		
1	4	*建築施工を学ぶにあたって	*建築施工とは *建築施工の流れ *建築施工に携わる人々 *建築施工に関する法令 *環境への配慮	建築生産の中における最終過程である建築施工のもつ意義およびその領域を理解させるとともに、建築施工が地域や社会環境へどう影響を及ぼしているか、法令遵守や倫理、情報化社会の中の建築施工の位置づけなどを考察させる。	○	○	○	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ごとの課題</li> <li>・口答による重要事項の確認</li> <li>・授業に取り組む姿勢、意欲、出席の状況</li> <li>・単元ごとの課題</li> <li>・定期考查</li> </ul> <p>以上を点数化し、総合的に評価する。</p>
	5	*第1章 工事の準備	*地盤と敷地の調査・確認 *仮設工事 *安全衛生管理	地盤と敷地の綿密な調査・確認は設計図書を作成するうえで必須の事項であるだけでなく、建築物を施工するうえでも重要な事項であることを認識させ、調査の種類・方法について理解せるとともに、工事中の災害を防止する設備にはどのようなものがあるか学習させる。	○	○	○	7	
	6	*第2章 地面から下の工事	*土工事および杭・地盤工事 *土工事・山留め *杭工事 *地盤工事	土工事の種類と各種山留め工法の特徴および排水工法について学習させる。各種の杭地盤の特質を明確にし、上部構造と地盤の状況からどの杭が適するか、また公害防止の要請からどのような方法が用いられるようになったかを考察させる。	○	○	○	7	
	7	*第3章 木構造の工事	*基礎 *在来工法の骨組 *枠組壁工法の軸体 *外部仕上げ *内部仕上げ	木構造で主として用いられるべき基礎と布基礎についての工法を理解させる。建方ににおいては、平家建ておよび2階建ての各々の場合についての工法を理解させる。屋根、外壁、床における断熱工法について理解させる。洋室の仕上げとしての床、天井、壁、階段、造作の工法および塗装について理解させる。和室の仕上として床、天井、壁、造作、建具の工法を理解させる。	○	○	○	5	
2	8	*第4章 鉄筋コンクリート構造の工事	*鉄筋コンクリート工事 *基礎 *軸体 *外部仕上げ *内部仕上げ	鉄筋コンクリートの標準的な基礎工事の流れを学習させ、その配筋や型枠の組立の方法を理解させる。標準的な鉄筋コンクリートラーメン構造の建築物を想定して、軸体工事の一般的に行われている工法を「製図」「構造」「実習」と関連付けながら理解させる。	○	○	○	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ごとの課題</li> <li>・定期考查</li> </ul> <p>以上を点数化し、総合的に評価する。</p>
	9	*第5章 鋼構造の工事	*基礎 *骨組 *スラブ *耐火被覆 *仕上げ	標準的なラーメン式構造の骨組について、工場における部材の製作、現場における建方と接合の方法を理解させるとともに、建方における方式や建て入れ直し、接合における高力ボルト摩擦接合やアーク溶接の方法、鋼構造の骨組に対して必須となる耐火被覆の各種工法について学習させる。	○	○	○	7	
	10	*第6章 設備の工事	*設備工事の種類 *設備工事に必要な資格 *設備工事の工程	「製図」「建築計画」と関連付けながら、設備工事の種類と内容を学ばせる。卒業後の就職や資格取得への動機づけになるよう、設備工事に必要な資格について学ぶ。	○	○	○	7	
	11	*第7章 建築物のライフサイクル	*建築物のライフサイクル *解体工事	建築工事のライフサイクルの考え方とマネジメントについて理解させる。解体工事の流れを把握せ、各構造別に理解させる。	○	○	○	6	
3	1	*第8章 建築の業務 *第9章 建築工事費の算出	*工事契約 *現場組織の編成 *施工計画と施工管理 *建築業務とICT *積算の基本事項 *工事費の構成 *積算の方法	入札を中心とした、工事の発注方式について理解させる。契約方法および契約図書、建築物保障について理解を深めさせる。「製図」「建築計画」と関連付けて、建築施工に用いられているICTについて理解させる。	○	○	○	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ごとの課題</li> <li>・定期考查</li> </ul> <p>以上を点数化し、総合的に評価する。</p>
	2			積算とは何か、どのような目的で積算が行われるのかを理解させる。積算に関する数量、歩掛り、単価など基本的な用語について学習させる。	○	○	○	8	
	3								

【觀點別評價】

令和7年度 「建築法規」 學習指導計画

(注) 評価の観点は、I 「知識・技能」 II 「思考・判断・表現」 III 「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

学 期	月	内容のまとめり	単元 (実習項目)	単元の目標 (具体的目標)	評価の観点			配当 時数	主な評価方法	
					I	II	III			
1	4	*建築法規を 学ぶにあたって	*建築法規の起源 *建築基準法の意義 *法規の体系と 建築基準法の構成 *建築基準法の基本用語	建築法規には古い歴史があり、法規に関する考え方は時代によって変化してきた。どのような基準や手続きに従って建築すると、よりよい結果が生まれるか、法規の体系と建築に関係する代表的な法規である「建築基準法」の構成を理解させるとともに、法令一般に共通する基本的な用語と、建築基準法の基本的な用語を学ばせる。	○	○	○	7	・単元ごとの課題 ・口答による重要事項の確認 ・授業に取り組む姿勢、意欲、出席の状況 ・単元ごとの課題 ・定期考查	
	5	*第1章 建築法規のあらまし			○	○	○	7		
	6	*第2章 個々の建築物に かかわる規定	*一般構造についての規定 *構造強度についての規定 *防火と避難についての規定 *建築設備についての規定		○	○	○	7		
	7				○	○	○	5		
	8				○	○	○	3		
	9	*第3章 良好な都市環境を つくるための規定	*都市計画法と建築基準法 *土地利用 *道路と敷地 *密度に関する規定 *形態に関する規定 *良好なまちづくり		○	○	○	7		
	10				○	○	○	7		
	11				○	○	○	7		
2	12	*第4章 手続きなどの規定	*手続きのあらまし *手続きに関する機関 *着工前の手続き *工事中の手続き *使用中の手続き *違反建築物などに 対する措置 *その他の制度	良好な都市環境をつくるための基準である都市計画法と、この法律に基づいて定められた都市計画に従って具体的に建築の規制を行う建築基準法の集団規定の目的を理解させるとともに、地域ごとに建築物の用途を指定する制度、道路と敷地の関係、一定の空間の中に建てられる建築物の量や密度をその用途地域に応じて規制するしくみ、建築物の高さや位置を規制する各種の形態規制、良好なまちづくりのための制度について学習させる。	○	○	○	6	以上を点数化し、総合的に評価する。	
	1				○	○	○	6		
	2	*第5章 各種の関係法規	*企画段階にかかわる法規 *設計と工事段階にかかわる法規 *良好な建築を促進する法規 *その他の法規		○	○	○	6		
	3				○	○	○	8		

【銀色別評価】